

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 現代漢語の源流

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 飛田, 良文 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00002865">https://doi.org/10.15084/00002865</a>

# 現代漢語の源流

飛田良文  
(近代語研究室長)

## [I] 目的

明治・大正・昭和と変化してきた現代日本語の移り変わりの過程で、漢語はどのような役割をはたしてきたか、明治前期の小説を資料として、

(1) 文体と和語・漢語・外来語との関係

(2) 昭和期と語形・意味・用法の異なる漢語の実態

を考察し、今後の日本語の中で、漢語がはたすであろう役割を考えてみたい。

## [II] 現代の漢語研究と資料

明治・大正・昭和の漢語研究

資料の種類

(A) 日本人の公的著作(学術書・啓蒙書・教科書・小説・脚本など)

(B) 日本人の私的著作(手紙・日記など)

(C) 外国資料(日本語文典・会話書・対訳辞書など)

(D) 翻訳資料(学術書・啓蒙書・入門書<直訳物・独案内物>、会話書・小説など)

(E) 速記資料(落語・講談・演説など)

(F) 録音資料

(G) 日本人の日本語研究(文法書・調査報告書・辞書など)

(H) 総合資料(新聞・雑誌)

文体の種類(明治前期)

(a) 漢文体

(b) 漢文直訳体

(c) 和文体

(d) 候文体

(e) 欧文直訳体

(f) 言文一致体(口語体)

表記の形式

- (a) 漢字文
- (b) 漢字カタカナ交り文
- (c) 漢字ひらがな交り文
- (d) カタカナ文
- (e) ひらがな文
- (f) ローマ字文

[Ⅲ] 漢文直訳体と和文体の漢語

漢文直訳体-----欧州奇事花柳春話 明治11~12年 丹羽純一郎訳  
和文体-----通俗花柳春話 明治17年 織田純一郎訳  
原著-----「アネスト・マルツラバス」「アリス」リットン著

調査単位

調査単位は文節であるが、漢語については次のように扱った。

1) 並立語は一単位とする。

(例) 真善美・花鳥風月・唯々諾々・文学技艺・一小屋一  
美屋

2) 連体修飾語十被修飾語は一単位とする。

(例) ○○式○○・○○的○○・普通学士・人寰交際

3) 「漢語十漢語」十の十体言の関係で、「漢語十漢語」が主述の関係、連用修飾格十被修飾格の関係にあるものは一単位とする。

(例) 風日美妍 / 女子時節・一笑傾固 / 風姿

4) 「漢語十教詞」の関係で、連体修飾格十被修飾格の関係にあるものは一単位とする。

(例) 午後五時・短歌一篇

5) 人名の「姓」と「名」は切らない。

文体と漢語（初編）

	異なり語数		延べ語数	
	欧州奇事	通俗	欧州奇事	通俗
和語	759	2168	5426	8520
漢語	1389	499	2649	963
外国語	44	41	421	403
漢外・和外混種語	13	15	25	28
和漢混種語	507	142	873	222
計	2712	2865	9394	10137

文体と品詞（初編）

（異なり語数）

文体 品詞 語種	欧州奇事花柳春話						通俗花柳春話					
	名	動	形	形動	副	連接感	名	動	形	形動	副	連接感
和語	181	389	41	18	106	24	826	383	131	44	225	49
漢語	1351				38		490				9	
外国語	44						41					
漢外・和外混種語	13						15					
和漢混種語	10	333		151	13		29	83		23	7	
計	1599	722	41	169	157	24	1401	976	131	67	241	49

（延べ語数）

文体 品詞 語種	欧州奇事花柳春話						通俗花柳春話					
	名	動	形	形動	副	連接感	名	動	形	形動	副	連接感
和語	1581	2162	206	89	1007	381	3602	2867	497	111	1064	379
漢語	2567				82		937				26	
外国語	421						403					
漢外・和外混種語	25						28					
和漢混種語	15	623		186	49		38	142		32	11	
計	4609	2785	206	275	1138	381	5008	3009	497	143	1101	379

文体と漢語の字数（初編）

	異なり語数				延べ語数			
	欧州奇事		通俗		欧州奇事		通俗	
	名詞	副詞	名詞	副詞	名詞	副詞	名詞	副詞
一字漢語	176		88		816		307	
二字漢語	1047	37	345	9	1577	81	561	26
三字漢語	54	1	30		82	1	38	
四字漢語	67		23		84		27	
五字漢語	2				2			
六字漢語	4		3		4		3	
七字漢語								
八字漢語	1				1			
九字漢語	1		1		1		1	
計	1352	38	490	9	2567	82	937	26

和漢混種語動詞の語構成（全編・異なり語数）

欧州奇事花柳春話の場合

(A) 漢語＋和語動詞

1. 漢語＋す

1-1 〔漢語＋す〕1054語

1-2 〔漢語＋す＋う〕2例

1-3 漢語＋す＋さる〕13

1-4 〔漢語＋す＋あたう〕1

1-5 〔漢語＋す＋おわる〕7

1-6 〔漢語＋す＋きたる〕11

アイケイオ(愛敬)・アイゴ(愛護)-----

キしう(記得)・キしう(喫得)

イチガイしさる(一咳去)・イッシュク

しさる(一蹴去)・サンポしさる

(散歩去)・ジしさる(辞)-----

キシあたう(記與)

イチドクしおわる(一読了)・キッ

しおわる(喫終)・サイドクしお

わる(再読)・ジュクしおわる

(熟視了)-----

ショウじきたる(生来)・ショウレ

きたる(賞来)・センポしきたる  
(跣歩来)・ソカイしきたる(蘇回  
来)-----

1-7 [漢語 + す + たまう]1

シジレたまう(指示玉)

1-8 [漢語 + す + つくす]1

ワしつくす(話盡)

(B) 和語 + 漢語 + 和語動詞

2. 和語 + 漢語 + す

2-1 [和語 + 漢語 + す]1

あいオウず(相應)

2-2 [和語 + 漢語 + す + おわる]1

あいイツしおわる(相損了)

通俗花柳春話の場合

(A) 漢語 + 和語動詞

1. 漢語 + す

1-1 [漢語 + す] 256

アイす(愛)・アンゴウす(暗合)-----

1-2 [漢語 + す + う]

サユウしう(左右得)

1-3 [漢語 + す + あう]1

ヒョウしあう(評)

1-4 [漢語 + す + いる]2

キョウじいる(興居)・ショウじい  
る(請入)

1-5 [漢語 + す + おく]2

メイじおく(命)・ヨウイしおく(呉  
備置)

1-6 [漢語 + す + こむ]1

フウじこむ(封)

1-7 [漢語 + す + さる]1

ジしさる(辞去)

1-8 [漢語 + す + だす]1

アンじだす(案出)

1-9 [漢語 + す + はつ]1

コウじはつ(困・因果)

1-10 [漢語 + す + みる]1

キョウじみる(興觀)

1-11 [漢語 + す + たまう]16

ウンドウしたまう(運動)・ガイしま  
う(害給)・ケツしたまう(決)-----

1-12 [漢語 + す + はべり]6

カンじはべり(感侍)・コウじはべり  
(困侍)・サッシはべり(察侍)-----

1-13 [漢語 + す + まいらす]3

ガイしまいらす(害参)・サイカイし

- まいらす(再会参)・ヒョウしまいらす(評)
- 1-14 [漢語 + す + わずらう]1 アンじわずらう(案煩)
- 1-15 [漢語 + す + たてまつる]4 ガイしたてまつる(害)・がしたてまつる(賀奉)・ギしたてまつる(擬奉)・シイしたてまつる(弑奉)
2. 漢語 + なす
- 2-1 [漢語 + なす]18 イチレイなす(一礼)・ウンドウなす(運動)・ケソウなす(懸想)……
- 2-2 [漢語 + なす + たまう]1 ヤクソクなしたまう(約束)
- 2-3 [漢語 + なす + もらす]1 アンナイなしもうす(案内做申)
3. 漢語 + いたす
- 3-1 [漢語 + いたす]1 スイサンいたす(推参)
- (B)和語 + 漢語 + 和語動詞
1. 和語 + 漢語 + す
- 1-1 [和語 + 漢語 + す]9 あいおうす(相応)・あいタイす(相對)・うちアンず(打案)……
- 1-2 [和語 + 漢語 + す + おわる]1 あいイツしおわる(相損了)
- (C)漢語 + 和語 + 和語動詞
1. 漢語 + 和語 + す
- 1-1 [漢語 + 和語 + す]3 シュツたつす(出立)・トいきす(吐息)・チンしごと(賃仕事)
2. 漢語 + 和語 + なす
- 2-1 [漢語 + 和語 + なす]1 シュツたつなす(出立)
- (D)漢語 + 和語 + 漢語 + 和語 + 和語動詞
1. 漢語 + 和語 + 漢語 + 和語 + す
- 1-1 [漢語 + 和語 + 漢語 + 和語 + す]1 サンのケずきす(産氣付)

「欧州奇事花柳春話」の四字漢語とそれに対応する「通俗花柳春話」の表現

並立の関係

(a) 漢語 — 漢語 (同語)

{ 文学<sup>シ</sup>技<sup>ニ</sup>藝<sup>ニ</sup>疎<sup>ナリ</sup>ト雖<sup>氏</sup> (欧)  
 { 文学<sup>シ</sup>技<sup>ニ</sup>藝<sup>ニ</sup>に疎<sup>ケ</sup>れども (通)

(b) 漢語 — 漢語 (別語)

{ 能<sup>ク</sup>事物<sup>ノ</sup>ノ是非得失<sup>ヲ</sup>辨<sup>解</sup>スルヲ得<sup>ン</sup> (欧)  
 { 物<sup>ノ</sup>の是非<sup>ヲ</sup>を辨<sup>知</sup>得<sup>ベシ</sup> (通)

(c) 漢語 — 和語

{ 正<sup>セイ</sup>邪<sup>ジャ</sup>善<sup>善</sup>悪<sup>悪</sup>ハ人性<sup>ノ</sup>ノ自然<sup>ニ</sup>慣<sup>知</sup>スル所 <sup>(欧)</sup>  
 { 世<sup>ノ</sup>の善<sup>善</sup>悪<sup>悪</sup>ハ自<sup>自</sup>から人<sup>人</sup>たる性<sup>性</sup>の知<sup>知</sup>所<sup>所</sup>なれば (通)

(d) 漢語 — 和語 + の + 和語

{ 唱歌<sup>クワンゲン</sup>管<sup>管</sup>絃<sup>絃</sup>ヲ教<sup>ユル</sup>ノミナラス (欧)  
 { 教<sup>教</sup>所<sup>所</sup>ハ管<sup>管</sup>管<sup>管</sup>絃<sup>絃</sup>ノ業<sup>業</sup>のみならず (通)

(e) 漢語 — 文

{ マルツラバースハ貧<sup>貧</sup>富<sup>富</sup>貴<sup>貴</sup>賤<sup>賤</sup>ヲ論<sup>セ</sup>ス (欧)  
 { 富<sup>富</sup>るも貧<sup>貧</sup>も貴<sup>貴</sup>も又<sup>又</sup>賤<sup>賤</sup>も差<sup>差</sup>別<sup>別</sup>を為<sup>為</sup>さて (通)

主述の関係

(a) 漢語 — 漢語 (同語)

{ 君<sup>君</sup>民<sup>民</sup>共<sup>共</sup>治<sup>治</sup>ノ論<sup>ヲ</sup>主<sup>主</sup>張<sup>シ</sup> (欧)  
 { 君<sup>君</sup>民<sup>民</sup>共<sup>共</sup>治<sup>治</sup>ノ説<sup>ヲ</sup>を主<sup>主</sup>張<sup>シ</sup> (通)

(b) 漢語 — 文

{ 其<sup>シヤウタイ</sup>状<sup>状</sup>態<sup>態</sup>毫<sup>毫</sup>モ男<sup>男</sup>女<sup>女</sup>同<sup>同</sup>室<sup>室</sup>ノ疑<sup>疑</sup>難<sup>難</sup>アルヲ知<sup>知</sup>ラサルカ如<sup>如</sup>ク (欧)  
 { 其<sup>其</sup>状<sup>状</sup>毫<sup>毫</sup>も世<sup>世</sup>の中<sup>中</sup>に男<sup>男</sup>女<sup>女</sup>の間<sup>間</sup>にハ不<sup>不</sup>同<sup>同</sup>室<sup>室</sup>すべ<sup>す</sup>きことあるを  
 知<sup>知</sup>ざる者<sup>者</sup>の如<sup>如</sup>くに (通)

修飾の関係

(a) 漢語 — 漢語 (別語)

{ 共<sup>共</sup>和<sup>和</sup>政<sup>政</sup>党<sup>党</sup>ナル書<sup>書</sup>生<sup>生</sup>ノ為<sup>為</sup>メニ (欧)  
 { 共<sup>共</sup>和<sup>和</sup>党<sup>党</sup>なる書<sup>書</sup>生<sup>生</sup>の為<sup>為</sup>に (通)

(b) 漢語 — 語 + の + 語

{ 猶ホ普通学士ノ下ニ出テス (欧)  
{ 普通ふつうのがくし学士がくしに下らねば (通)

(c) 漢語 — 文

{ 中古封建ハウケンノ世ニ當テ (欧)  
{ 中古封建そのむかしはうけんの世がに當ありて (通)

[IV] 昭和期と語形・意味・用法の異なる漢語  
語形

1. 字音の交替

吳音 → 漢音

[快樂] 一時じの快樂けらくを得るとても今日けふの喜よろこ悦びあるなしと  
(通俗花柳春話・明17・三編68ペ10)

[差別] 窮迫キウハクノ時トキニ臨リンンテハ彼ヒ我ガノ差別シヤベツヲ問トフニ違イマアラ  
ス (欧州奇事花柳春話・明11~12・四編35ペ11)

[大河] ナイル河ガハハ世界せかい第一だいいちの大河ダイガにして (通俗花柳春話・初  
129ペ2)

[男女] 路傍ロバウノ男女ナンニヨ或シユハクハ手帕アヲ場アゲ (欧州奇事花柳春話・初75ペ1)

[女王] 宮内省クワイシヨウニ出テ初テヌグイメテ女王ニヨウワウニ謁エツス可ケレバ (同上・四  
編56ペ5)

漢音 → 吳音

[厚情] 君コウレイノ厚情アマ謝スルニ餘アリアリ (同上・二編45ペ5)

[功名] 吾チカンレ誓コウメイテ功名コウメイヲ好アマサルヘシ (同上・二編74ペ3)

[富豪] 富豪フウガウノ名ナ当時トウジに冠クワンたり (通俗花柳春話・二編108ペ12)

[毎日] 毎日マイジツ四時ヨジと五時ゴジの間アイダに茶チヤを喫ノミ (同上・二編121ペ10)

2. 連濁

3. 音便

4. 字順

[抗拒] エジプト王カクタイに抗拒ゴウマンして、傲慢シヨギョウなる所行シヨギョウをなせしよ  
り (経世指針鐵烈奇談・明治16・二編35ペ9)

- [快爽] <sup>ある</sup>或<sup>くわいさう</sup>ハ快爽<sup>しんりん</sup>なる森林<sup>よぎ</sup>を過<sup>り</sup>リ (禽獸世界狐の裁判・明治19.  
95ペ5)
- [單筒] <sup>ま</sup>先<sup>たんかん</sup>づ單筒<sup>これ</sup>に之<sup>い</sup>を云<sup>ハ</sup>へバ (天路歷程・明治19・160ペ8)
- [断決] 一身ノ進退ヲ断決スル<sup>ダ</sup>能<sup>ハ</sup>サルヲ知<sup>ル</sup>ノミ (歐  
州奇事花柳春話・二編 55ペ8)
- [忍勘] 滿面赫然タリ然レトモ能ク忍勘シ (同上・二編129ペ2)

## 5. 語構成

- [鍊瓦石] <sup>これ</sup>之<sup>を</sup>を<sup>じつち</sup>実地<sup>もつ</sup>に用<sup>ゆる</sup>るにハ鍊瓦石<sup>かんくわせき</sup>を以<sup>て</sup>大<sup>な</sup>なる基<sup>き</sup>  
<sup>そ</sup>礎<sup>ちゆう</sup>を築<sup>ぞう</sup>造<sup>し</sup> (九十七時十分間月世界旅行・明治19・234ペ10)
- [石炭油] <sup>いげえ</sup>前号<sup>に</sup>に記<sup>せ</sup>し石炭油<sup>を</sup>を積<sup>込</sup>みたる二艘<sup>の</sup>米<sup>因</sup>船<sup>は</sup>  
は (東京日日新聞・明治10年11月10日)
- [電気燈] <sup>る</sup>路<sup>じょう</sup>上<sup>てんきとう</sup>の電気燈<sup>を</sup>ハ宛<sup>ら</sup>白晝<sup>はくちう</sup>に異<sup>ら</sup>ず (政治小説雪中  
梅・明治20・上2ペ4)

## 意味

- [外人] 叔父カ婦ノ外人<sup>グワイジン</sup> (=他人)ヲ見<sup>ル</sup>ヲ喜<sup>ハ</sup>サルハ或<sup>ヨロコ</sup>  
ハ是<sup>レ</sup>シ嫉妬<sup>シットシン</sup>心ナルカ (欧州奇事花柳春話・三編94ペ9)
- [喧嘩] <sup>りや</sup>旅客<sup>いみん</sup>人民<sup>ども</sup>共<sup>に</sup>に群<sup>が</sup>リ其<sup>その</sup>喧嘩<sup>けんわ</sup> (=マカましさ)なること製<sup>せい</sup>  
<sup>てつじやう</sup>鐵場<sup>にある</sup>にあるか如<sup>く</sup> (月世界旅行・132ペ5)
- [事故] 今夕止ムヲ得ザルノ事故<sup>ジコ</sup> (=理由・わけ)アリテ頗<sup>スゴブ</sup>ル  
<sup>はん</sup>繁<sup>ぱう</sup>忙<sup>なり</sup>ナリ (欧州奇事花柳春話・四編93ペ11)
- [新聞] <sup>てん</sup>伝<sup>ぶん</sup>染病<sup>しん</sup>の新聞<sup>しんぶん</sup> (=新しい話・ニュース)に売<sup>か</sup>弘<sup>ひろ</sup>めたる牛肉<sup>ぎゅうにく</sup>  
の功能<sup>きこう</sup>もむなしくならんかと (安愚楽鑑・明4・二上6オ3)
- [墜落] <sup>たか</sup>宛<sup>らい</sup>も百雷<sup>ひやくらい</sup>の一時<sup>いちじ</sup>に墜落<sup>たらく</sup> (=落ちる)したるが如<sup>く</sup> (北  
極旅行・明治20・前70ペ2)
- [注射] 坐上<sup>たごこ</sup>の眼<sup>こころ</sup>は盡<sup>く</sup>川岸<sup>せんがし</sup>の身上<sup>みづかみ</sup>に注射<sup>ちゆうしや</sup> (=そそぎこむこと)  
せリ (政治小説花間鶯・明治20・上34ペ11)
- [當時] 當時<sup>たうじ</sup> (=今)有名<sup>カジン</sup>ノ佳人<sup>せきじん</sup>フロレンス寂然<sup>せきぜん</sup>トシテ獨坐<sup>どくざ</sup>ス  
(欧州奇事花柳春話・四編19ペ10)

## 用法

- [完全] <sup>な</sup>尚<sup>さう</sup>ほ一<sup>いち</sup>層<sup>ちゆう</sup>緻密<sup>ちみつ</sup>なる改良<sup>かんぜん</sup>を加<sup>へ</sup>て完全<sup>かんぜん</sup>したるものなり

(五大州中海底旅行・明治 17・上 130 ペ 5)

[貴重] 是レ徒<sup>タ</sup>タニ人ニ貴重<sup>キチヨウ</sup>セラル虚名<sup>キヨク</sup>ノ富貴ニ非サルナ  
リ (欧州奇事花柳春話・三編 89 ペ 2)

[思想] 俄然<sup>ガゼン</sup>噴火山<sup>スんくわさん</sup>を出現<sup>しゆげん</sup>したるかと思<sup>し</sup>想<sup>つ</sup>したるへしく月  
世界旅行・明治 19・113 ペ 8)

[熱心] 余も亦<sup>あれ</sup>た同行<sup>どうかう</sup>せんことを熱心<sup>ねっしん</sup>するなり (同上・255  
ペ 11)

[結局] 是レ僅<sup>ワカ</sup>ニ目前ノ小事ノミ其<sup>ミクト</sup>目途<sup>メクト</sup>ノ結局<sup>ケツギョク</sup>ニ至テ八大  
ニ異ナレリ (欧州奇事花柳春話・四編 45 ペ 12)

[V] 明治・大正・昭和の各期における漢語の役割

使用度数順位で上位100語に入る漢語

		和語	漢語	外来語	混種語	計	資料
会 話	明治	89	7	0	4	100	安愚楽鍋
	昭和	74	6	0	1	81	公務員
		94	6	0	0	100	商家の主婦
		99	1	0	0	100	農民
新 聞	明治	79	20	0	1	100	郵便報知
	大正	53	39	0	8	100	朝日
	昭和	43	54	1	2	100	朝日

- [資料] 安愚楽鍋-----「安愚楽鍋総索引」(近代語研究室  
作成・未刊)
- 公務員-----「地域社会の言語生活」(国立国語研究所・  
昭和28刊)
- 商家の主婦と農民-----「言語生活の実態」(同上・昭和  
25年刊)
- 郵便報知-----「明治初期の新聞の用語」(同上・昭和  
34刊)
- 朝日(大正)---大正10年4月9日の紙面(飛田良文  
「明治以後の語彙の変遷」(言語生活  
182号)参照)
- 朝日(昭和)-----「語彙調査——現代新聞用語の  
一例——(国立国語研究所・  
昭和27年刊)